

問1 1872年に明治政府が公布した、日本初の近代的な学校制度に関する説明として、内容が正しいものを選択してください。

(2024年 栃木公立入試 類似)

- 身分や男女の区別なく、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。
- 武士の身分を持つ男子のみを対象として、藩校での教育を義務付けた。
- 日本独自の伝統を重視し、戦後の教育の基本原則を定めた教育基本法に基づいている。
- 女性の参政権を確立するために、高等教育への進学を全国民に強制した。

問2 明治政府が1873年に実施した地租改正において、それまでの「収穫高に応じた米での納入」から「地価に応じた現金での納入」へと仕組みを改めた最大の目的として適切なものはどれですか。 (2025年 三重公立入試 類似)

- 豊凶による農作物の収穫高の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保するため
- 江戸時代よりも農民の負担を大幅に軽くすることで、全国で頻発していた一揆を鎮めるため
- すべての農地を政府の所有物とし、小作料を直接徴収する仕組みを整えるため
- 海外から輸入される安価な農作物に対抗するため、国内の米の価格を政府が管理するため

問3 明治時代初期に、政府による近代化政策とともに、欧米の思想や技術、制度が積極的に導入されたことで、日本人の生活様式が急速に西洋化した社会的現象を何というか。 (2023年 大阪公立入試 類似)

- 文明開化
- 殖産興業
- 富国強兵
- 自由民権運動

問4 明治政府が地租改正において、納税の方法を従来の「米による物納」から「現金による金納」へと改めた主な理由として最も適切なものはどれか。 (2020年 大分県公立入試 類似)

- 豊作や不作、あるいは米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保できるようにするため。
- 農村での貨幣経済の普及を抑制し、農民が自給自足の生活を維持できるようにするため。
- 政府が米を直接管理することで、海外への輸出を独占し貿易赤字を解消するため。
- 地主の権限を弱め、すべての農民に平等な納税の義務を課すことで江戸時代の身分制を完全に打破するため。

問5 幕末から明治維新にかけての政情の変化と、北海道にある五稜郭との関わりについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2019年 福島県公立入試 類似)

- 旧幕府軍が北海道の五稜郭に立てこもって抵抗したが、新政府軍に敗北して戊辰戦争が終結した。
- 明治政府がロシアの南下に備えるための北の守りとして、五稜郭に新たな政府軍の拠点を置いた。
- ペリーが来航した際、幕府が交渉の窓口として函館の五稜郭を使用し、和親条約の細則を決定した。
- 板垣退助を中心とする旧士族らが、自由民権運動の拠点として五稜郭で大規模な演説会を開いた。

問6 日本の近代化における主な出来事をまとめた年表において、1868年に開始されたとされる「戊辰戦争」の背景や対立関係について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 熊本県公立入試 類似)

- 王政復古の号令によって実権を失った旧幕府側の勢力と、薩摩・長州を中心とする新政府軍が武力で衝突した。
- 長州藩が攘夷を決行して外国船を砲撃したことに対し、イギリスなどの四カ国連合艦隊が報復攻撃を行った。
- 明治政府による徴兵令や士族の特権廃止に不満を持った士族たちが、西郷隆盛を担いで九州で挙兵した。
- 薩摩藩の島津久光の行列を横切ったイギリス人を、藩士が殺傷したことで国際的な問題となった。

問7 明治政府が1873年（明治6年）から実施した地租改正について、その制度の内容を正しく説明しているものはどれですか。

(2026年 神奈川公立入試 類似)

- 土地の所有者に地券を交付し、収穫量にかかわらず地価の3%を現金で納めさせた。
- 土地の面積に応じて納税額を決定し、例年通り収穫された米によって納めさせた。
- 農村の階級格差をなくすため、すべての土地を国有化して政府が管理するようにした。
- 江戸時代の年貢よりも負担を減らすため、地価の1%を現金で納めさせた。

問8 地租改正の内容について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 福島県公立入試 類似)

- 土地の所有者に地券を交付し、地価の3%を税として現金で納めさせた。
- 耕作者に土地の所有権を与え、収穫高の2.5%を税として米で納めさせた。
- 地価の10%を税率とし、政府が発行する紙幣のみでの納税を義務付けた。
- 旧藩主が所有する土地を調査し、全国一律の小作料を定めることとした。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 身分や男女の区別なく、すべての国民が等しく小学校教育を受けることを目指した。	明治政府は、欧米列強に対抗できる近代国家を建設するためには国民全体の知識水準を引き上げることが不可欠であると考え、1872年に「学制」を公布しました。これにより、それまでの身分制に基づいた教育ではなく、身分や男女の区別を廃した「国民皆学」の理念が掲げられ、すべての子供が小学校に通うことが義務付けられました。
問2	答え 1 豊凶による農作物の収穫高の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保するため	江戸時代の年貢は収穫量に応じて納める量が決まる仕組みであったため、天候不順などによる不作の年は政府の収入が激減し、国家の財政が非常に不安定でした。近代国家の建設を急ぐ明治政府は、軍隊の整備や産業の育成（殖産興業）に多額の資金を必要としていたため、作物の出来に左右されない安定した国家収入を求めて、土地の価格を基準とした一律の現金納税へと制度を改めました。
問3	答え 1 文明開化	明治政府は不平等条約の改正を有利に進めるため、日本が欧米に劣らない近代国家であることを示す必要がありました。その一環として、衣食住にわたる西洋化が進められ、暦（れき）の改正や牛鍋の流行、洋服の着用などが一般に広がりました。
問4	答え 1 豊作や不作、あるいは米価の変動に左右されず、政府が安定した税収を確保できるようにするため。	それまでの収穫高に応じた米による納税では、天候による不作や、市場における米の価格変動によって、政府の毎年の収入が不安定になるという欠点がありました。土地の価格（地価）を基準に固定された金額を現金で納めさせることで、政府は景気や天候に左右されない安定した財政基盤を確立し、近代化政策を進めるための資金を得ようとしていました。
問5	答え 1 旧幕府軍が北海道の五稜郭に立てこもって抵抗したが、新政府軍に敗北して戊辰戦争が終結した。	戊辰戦争は、1868年の鳥羽・伏見の戦いに始まり、江戸城の無血開城、東北地方での会津戦争などを経て、1869年に北海道の五稜郭が陥落したことで幕を閉じました。五稜郭は旧幕府軍が「蝦夷共和国」の樹立を目指して拠点とした場所であり、ここでの敗北が武士による統治時代の完全な終焉を意味しました。
問6	答え 1 王政復古の号令によって実権を失った旧幕府側の勢力と、薩摩・長州を中心とする新政府軍が武力で衝突した。	1867年の大政奉還によって江戸幕府は終了しましたが、その後の王政復古の大号令によって徳川氏の領地返上などが求められたため、これに不満を持つ旧幕府軍と、新政府の主軸である薩摩・長州藩との間で戦いが起こりました。これが戊辰戦争です。他の選択肢にある四力国連合艦隊との戦いは下関戦争、不平士族の反乱は西南戦争、イギリス人殺傷事件は生麦事件の内容です。
問7	答え 1 土地の所有者に地券を交付し、収穫量にかかわらず地価の3%を現金で納めさせた。	明治政府は近代国家の財政基盤を固めるため、地租改正を行いました。この改革では、まず土地の所有権を認める「地券」を交付し、課税の基準を「収穫量」から「地価（土地の価格）」に変更しました。また、納税方法を「米」から「現金」に改め、当初の税率は地価の3%と定められました。これにより、政府は農作物の豊凶や米価の変動に左右されない安定した税収を得られるようになりました。
問8	答え 1 土地の所有者に地券を交付し、地価の3%を税として現金で納めさせた。	地租改正では、土地の所有者に対して地価の3%を税率として課しました。しかし、この負担が以前の年貢と変わらず重かったことから、各地で農民一揆が発生しました。これを受けて、1877年に税率は2.5%へと引き下げられることになります。